



令和5年2月16日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済(令和5年2月号)」

国土交通省では、「国土交通月例経済(令和5年2月号)」を発表したのでお知らせいたします。

概況は、別紙のとおりです。なお、詳細につきましては、以下の URL よりご覧ください。

建設分野 https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r05/02/construction_menu.html

交通分野 https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/transport/transport_menu.html

本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

国土交通月例経済は、建設分野や交通分野の統計をはじめ、事業者や関係団体が公表している様々なデータの中から、主要な項目をまとめて毎月公表しています。

問い合わせ先

総合政策局情報政策課 中村、野村

TEL:(03)5253-8111(内線:28414)

総合政策局情報政策課建設経済統計調査室 宮田

TEL:(03)5253-8111(内線:28631)

国土交通月例経済（令和5年2月号）概況

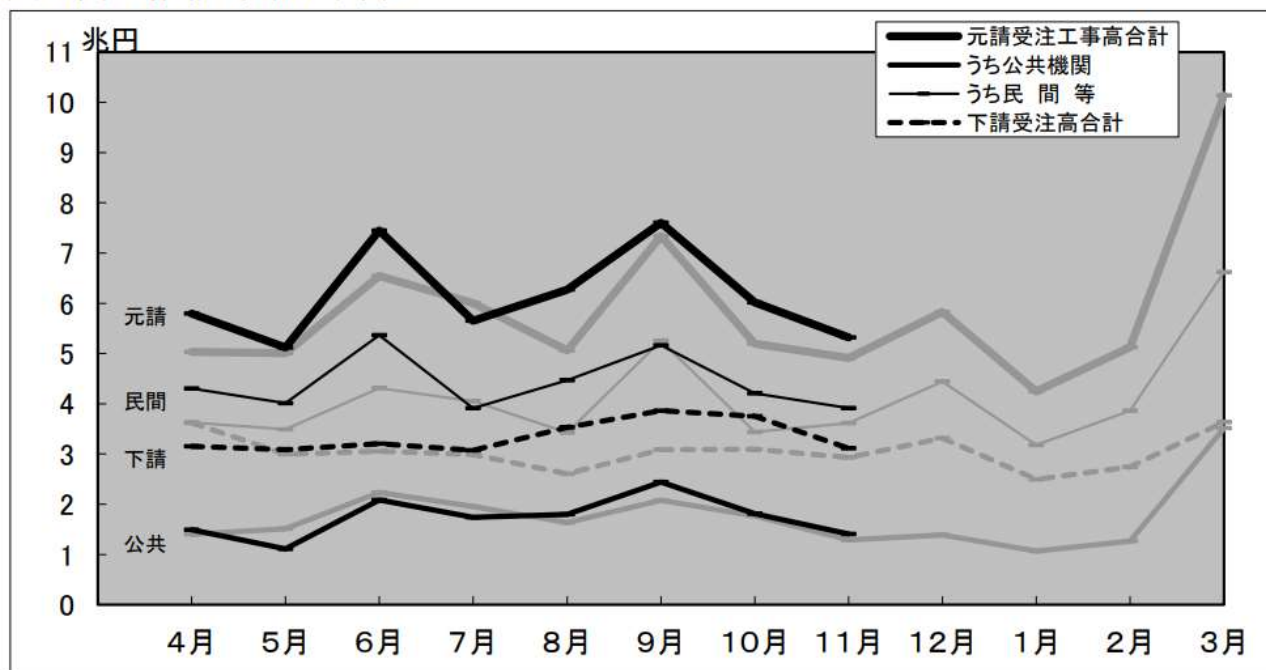
I 建設分野

1. 建設工事の受注高

11月の受注高は8兆4,332億円で、前年同月比7.6%増加した。うち元請受注高は5兆3,192億円で、同8.3%増加し、下請受注高は3兆1,140億円で、同6.3%増加した。

元請受注高のうち公共機関からの受注高は1兆4,059億円で、同8.7%増加し、民間等からの受注高は3兆9,133億円で、同8.2%増加した。

受注高の推移(令和4年度)



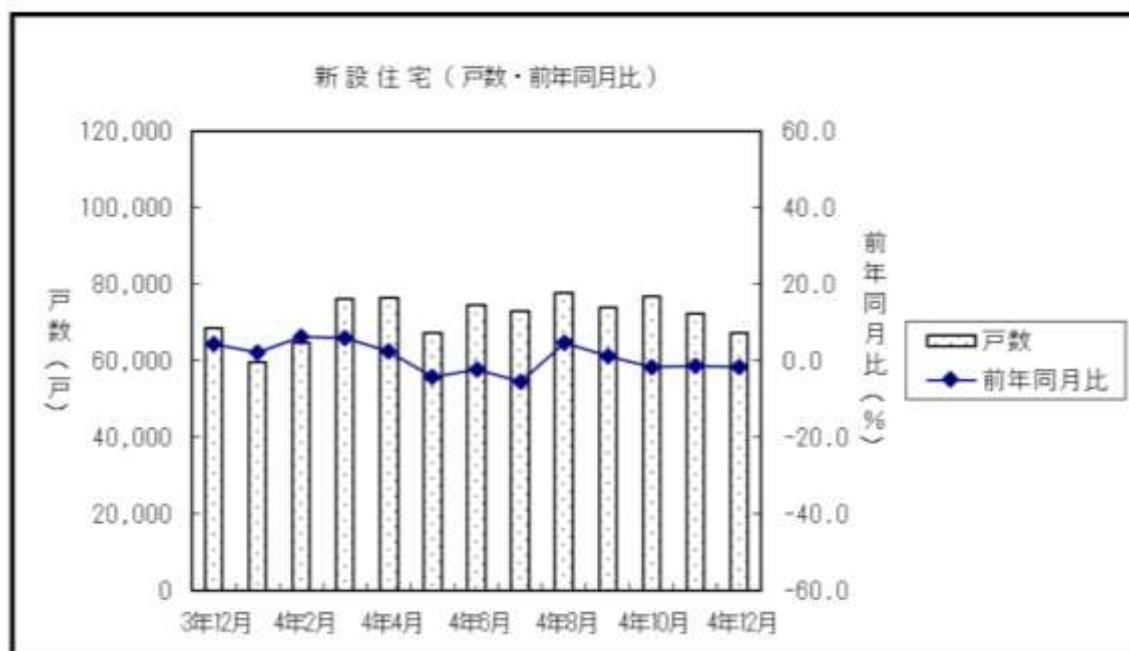
(グラフ中の淡色の線は、令和3年度の推移)

出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00600130&tstat=000001015811>

2. 住宅着工

12月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で前年同月比1.7%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比0.5%の増加となった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

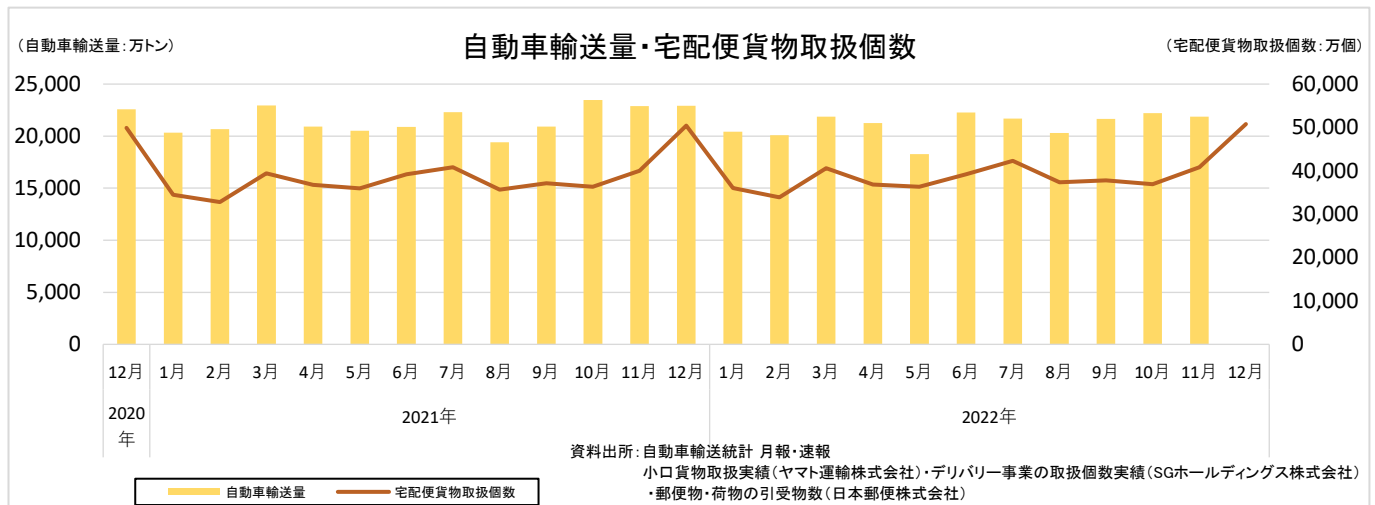
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600120&kikan=00600>

Ⅱ 交通分野

1. 貨物輸送

(1) 自動車

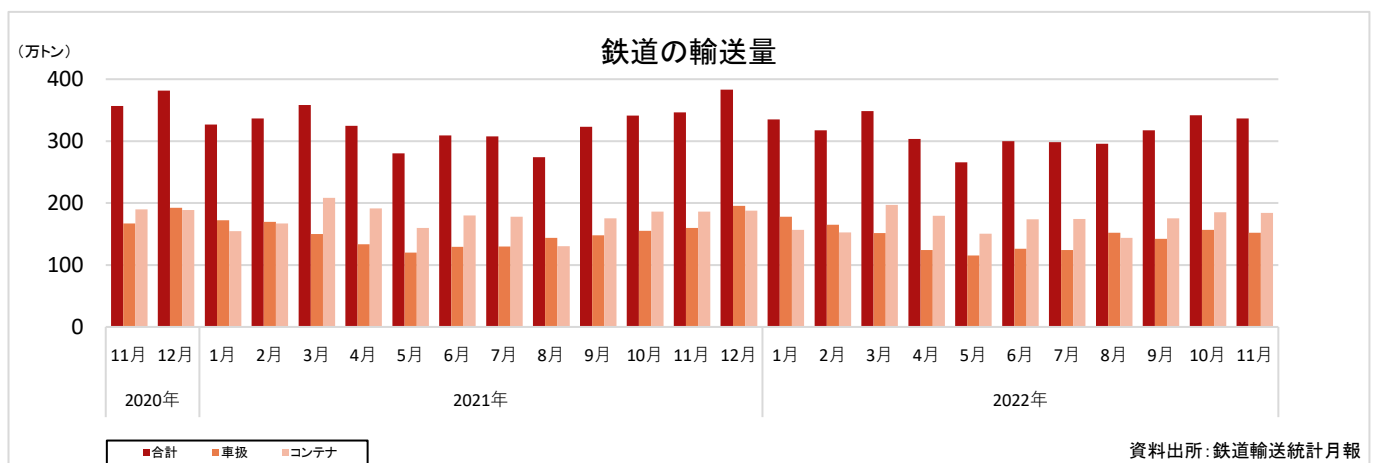
11月の自動車の輸送量は21,857万トン（対前年同月比4.4%減少）、12月の宅配便貨物の取扱事業者（大手3社）による宅配便貨物取扱個数は50,779万個（対前年同月比0.7%増加）となった。



(2) 鉄道

11月の鉄道の輸送量は336万トン（対前年同月比2.9%減少）となった。

そのうち、車扱は152万トン、コンテナは184万トンであった。

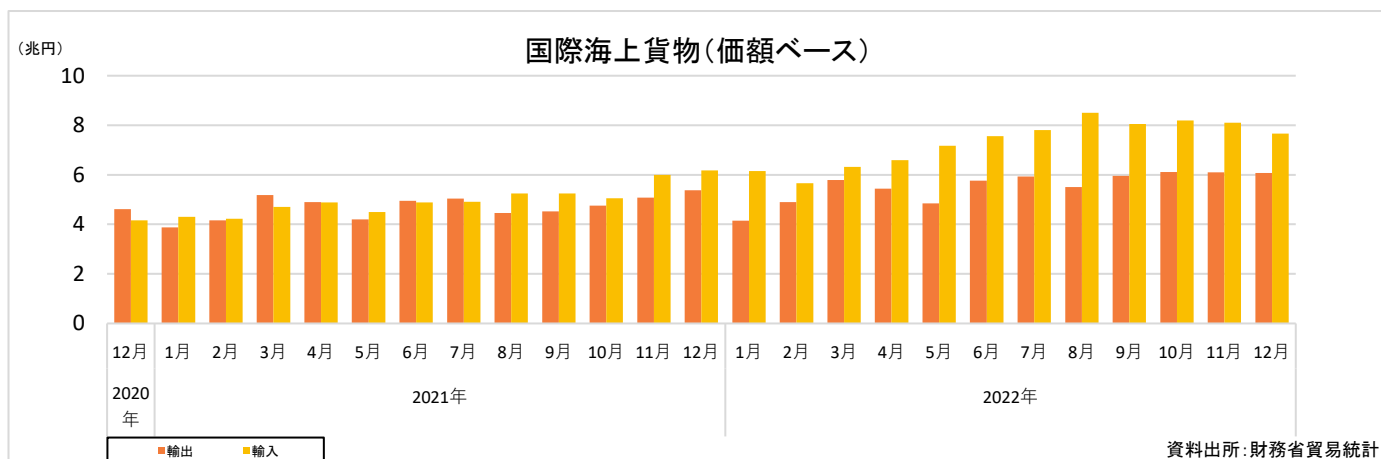
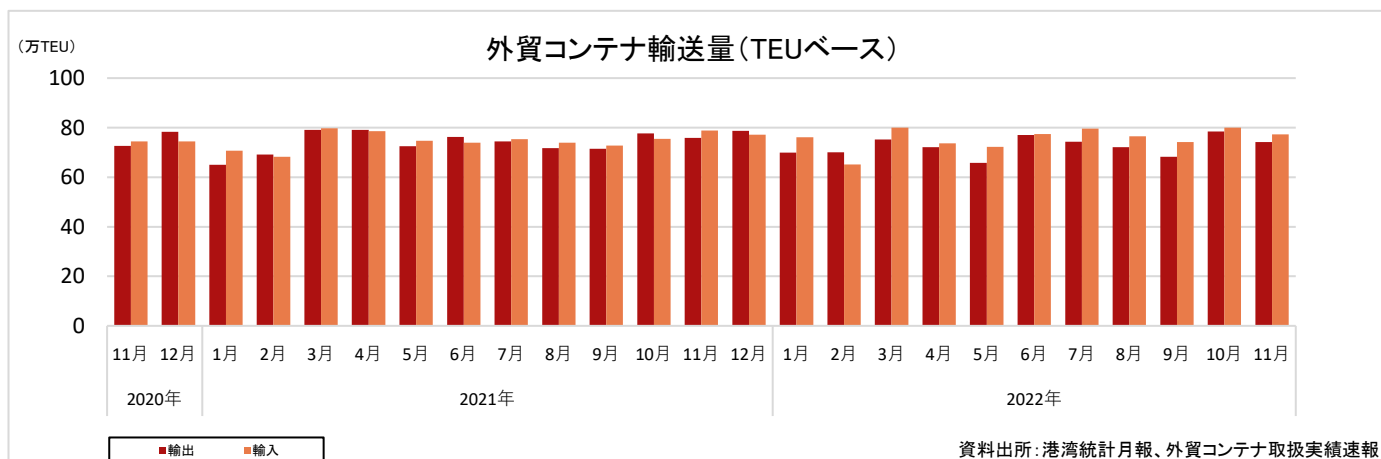
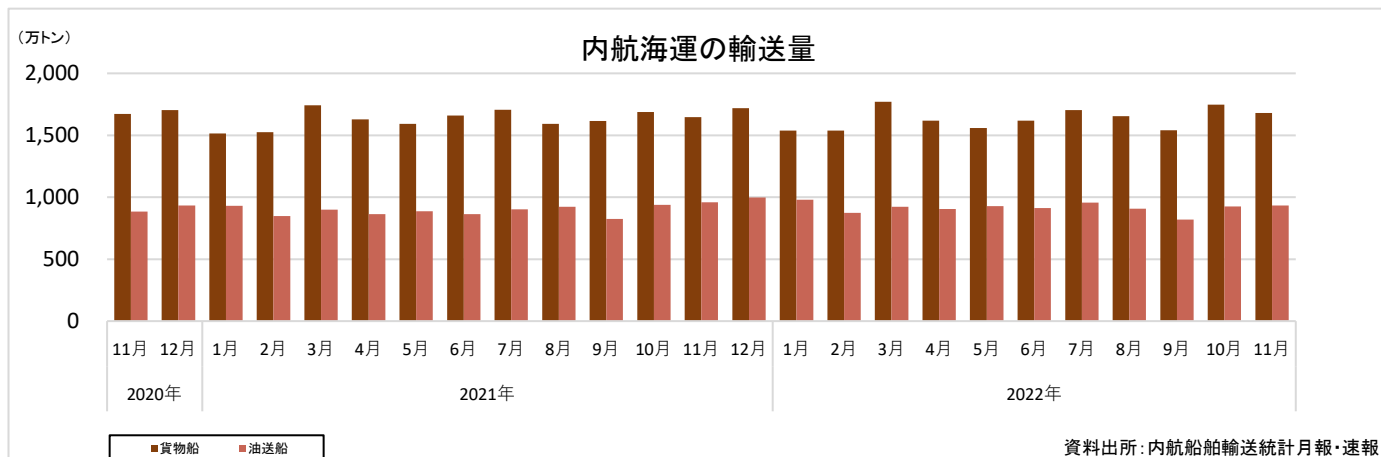


(3) 海運

11月の内航海運の輸送量は、貨物船1,680万トン（対前年同月比2.0%増加）、油送船932万トン（対前年同月比2.7%減少）となった。

11月の外航海運（外資コンテナ）の輸送量は、輸出74万TEU（対前年同月比3.2%増加）、輸入77万TEU（対前年同月比2.6%減少）となった。

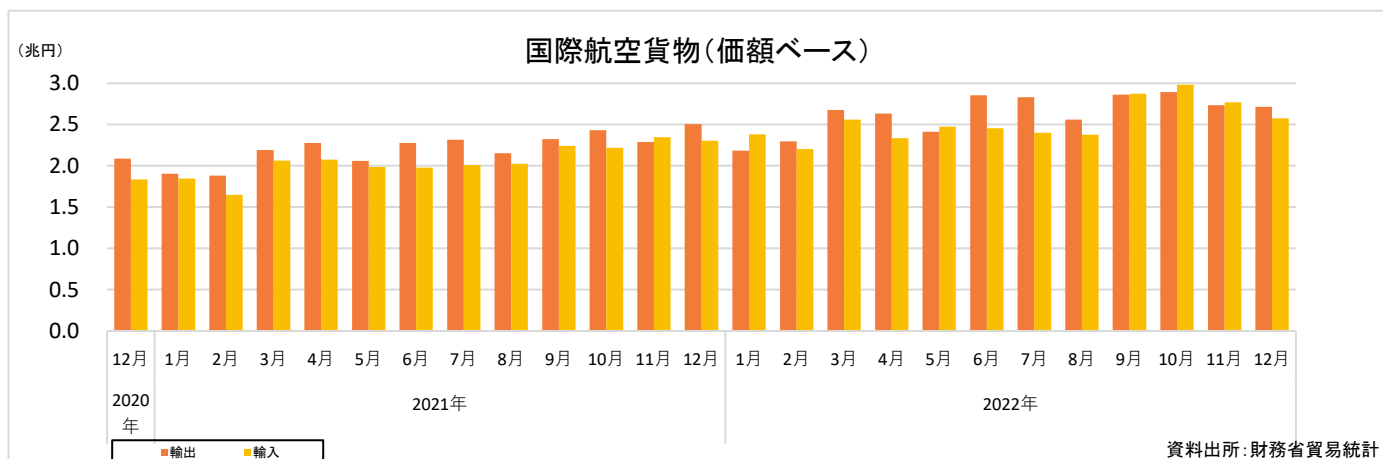
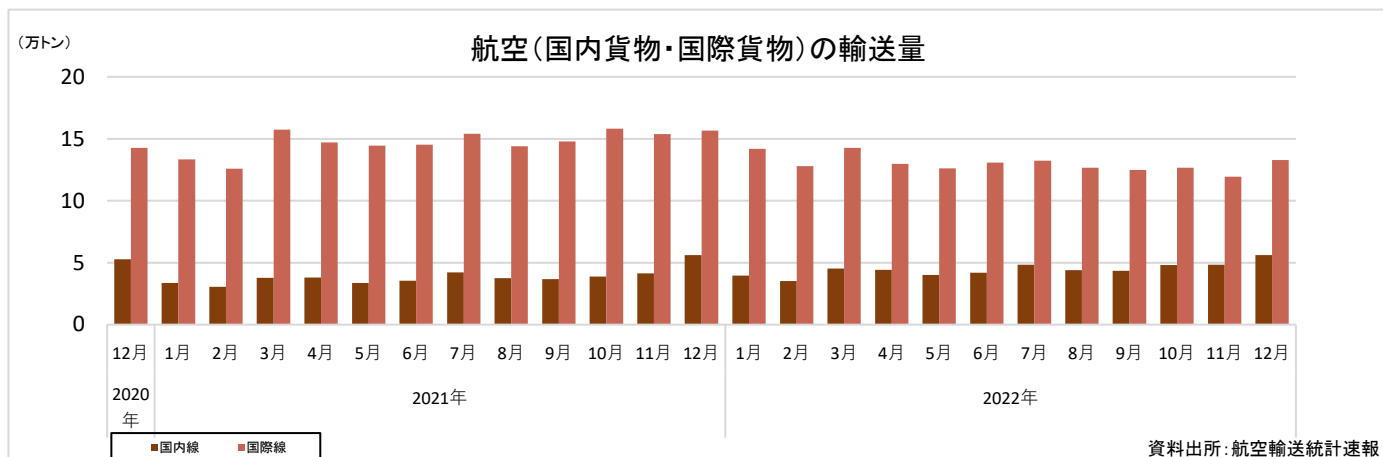
12月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出6.1兆円（対前年同月比13.0%増加）、輸入7.7兆円（対前年同月比24.0%増加）となった。



(4) 航空

12月の航空の輸送量は、国内線 5.6 万トン（対前年同月比 4.3%増加）、国際線 13.3 万トン（対前年同月比 21.0%減少）となった。

12月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出 2.7 兆円（対前年同月比 8.3%増加）、輸入 2.6 兆円（対前年同月比 11.7%増加）となった。

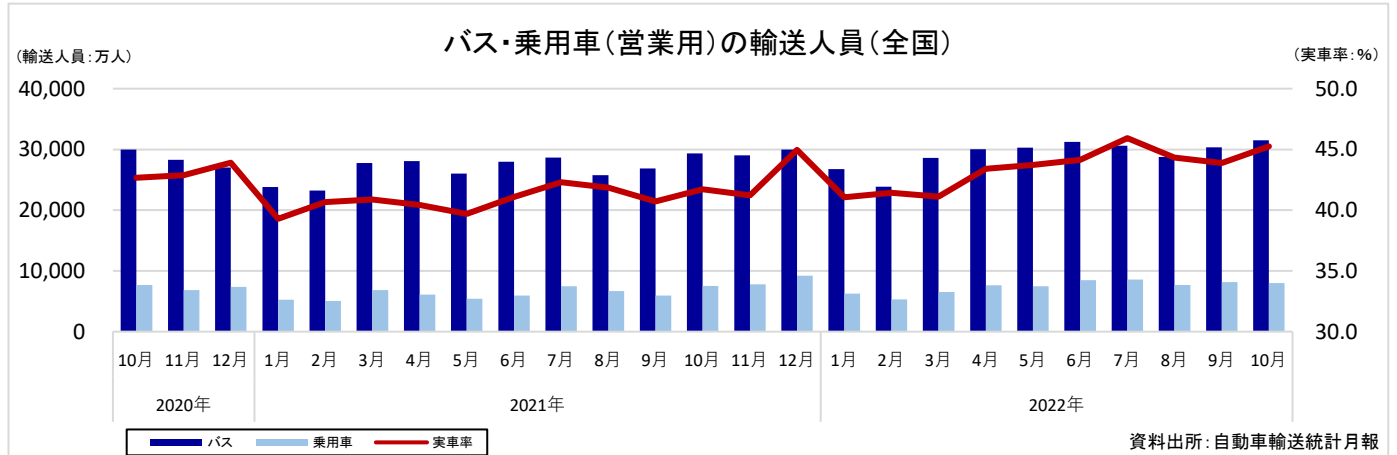


2. 旅客輸送

(1) バス・タクシー

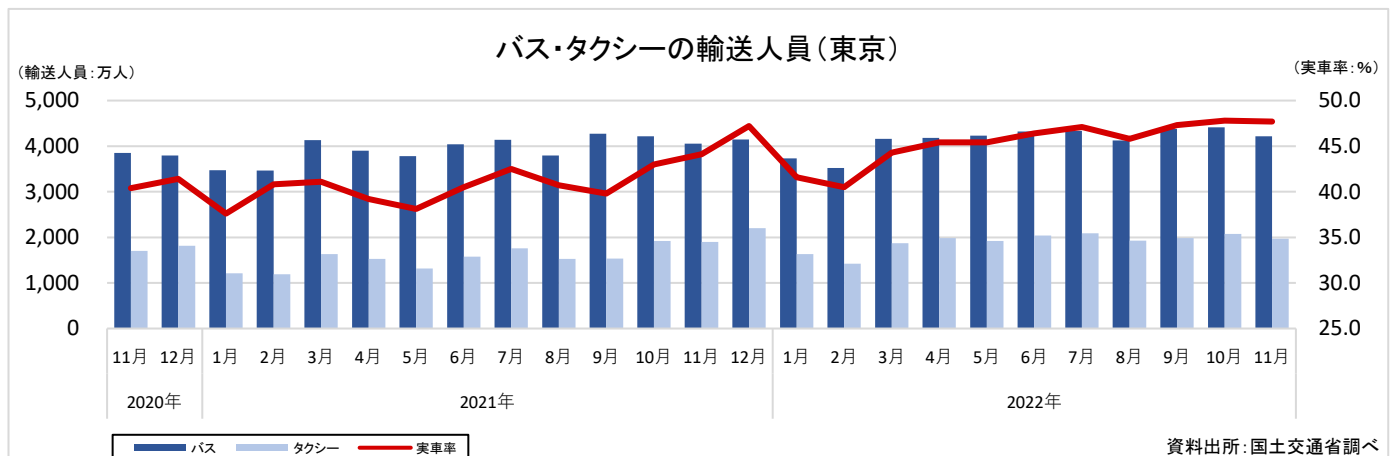
①全国

10月のバス（全国の乗車定員11名以上の乗合バス）の輸送人員は31,485万人（対前年同月比7.3%増加）、乗用車（全国の乗車定員10名以下の営業用乗用車）の輸送人員は7,975万人（対前年同月比6.0%増加）、実車率は45.3%となった。



②東京

11月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の輸送人員は4,218万人（対前年同月比3.9%増加）、11月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の輸送人員は1,972万人（対前年同月比3.7%増加）、実車率は47.7%となった。



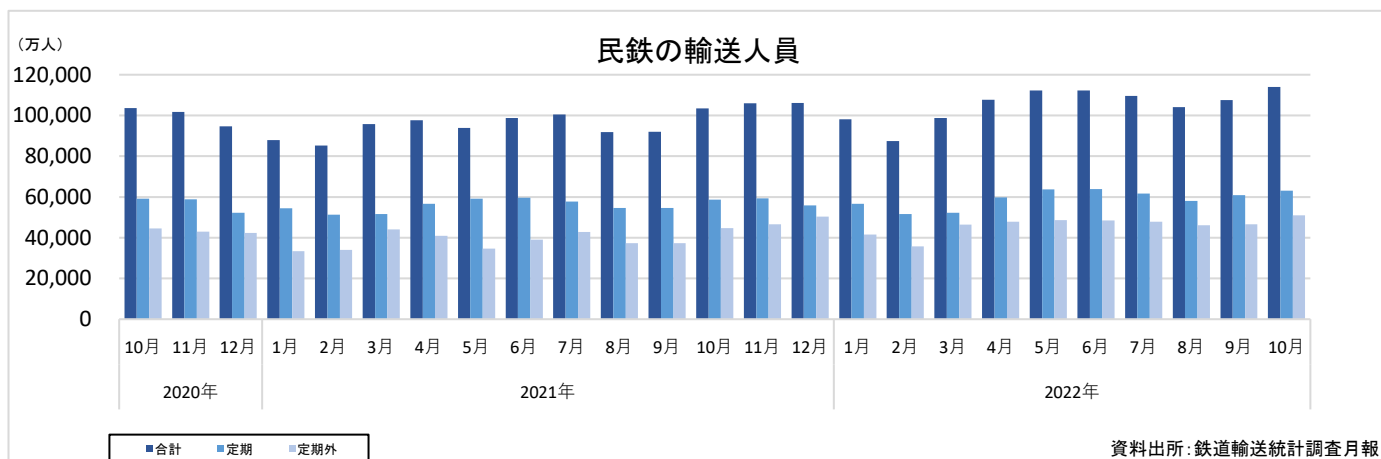
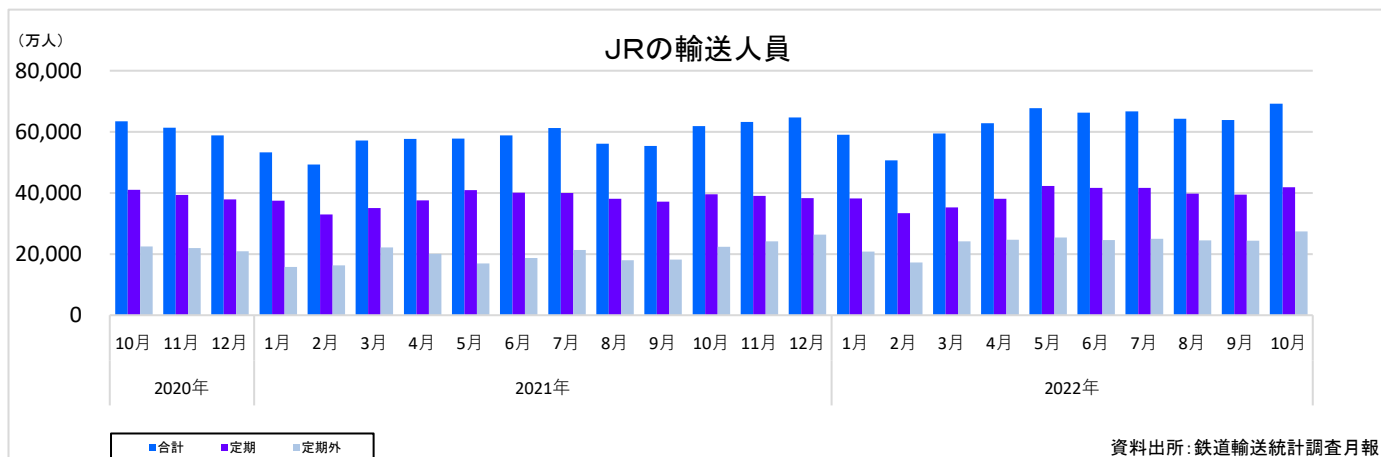
(2) 鉄道

10月のJRの輸送人員は69,224万人（対前年同月比11.8%増加）となった。

そのうち、定期は41,830万人、定期外は27,394万人であった。

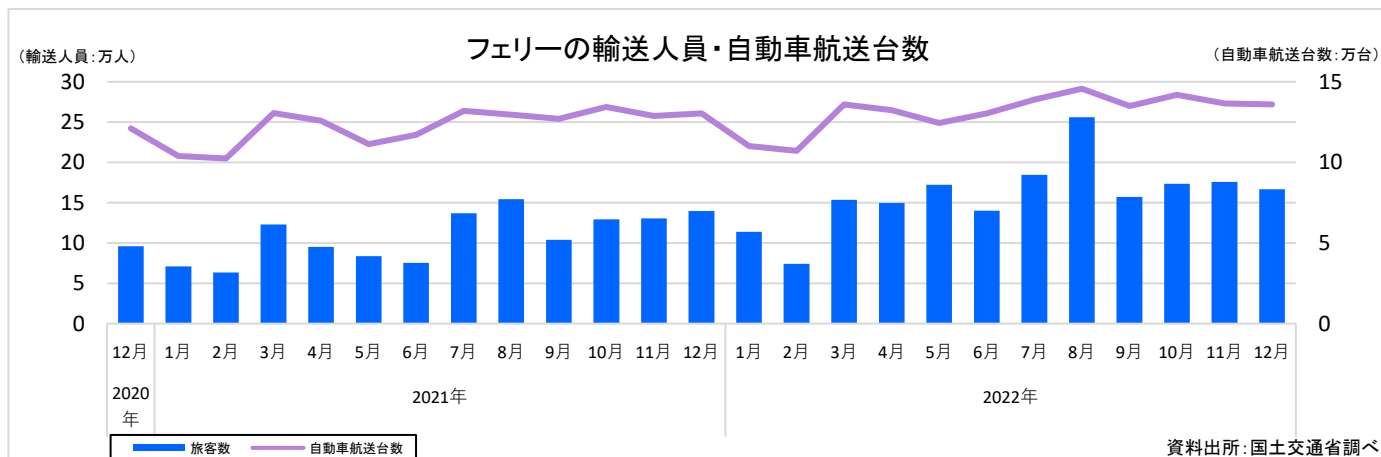
10月の民鉄の輸送人員は114,004万人（対前年同月比10.2%増加）となった。

そのうち、定期は63,094万人、定期外は50,911万人であった。



(3) フェリー

12月の長距離フェリーの輸送人員は17万人（対前年同月比19.3%増加）、自動車航送台数は14万台（対前年同月比4.3%増加）となった。

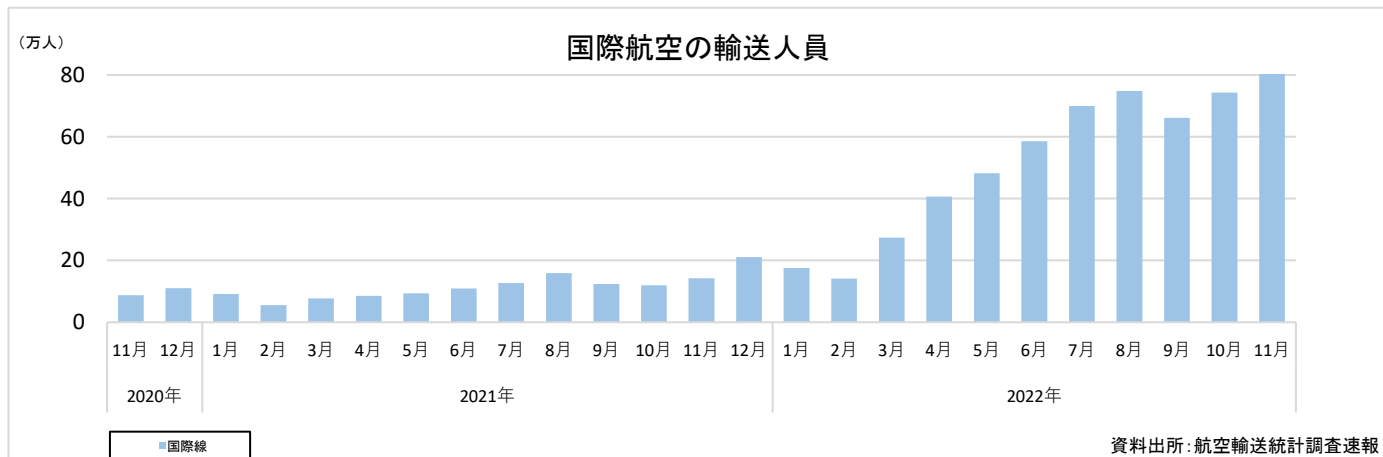
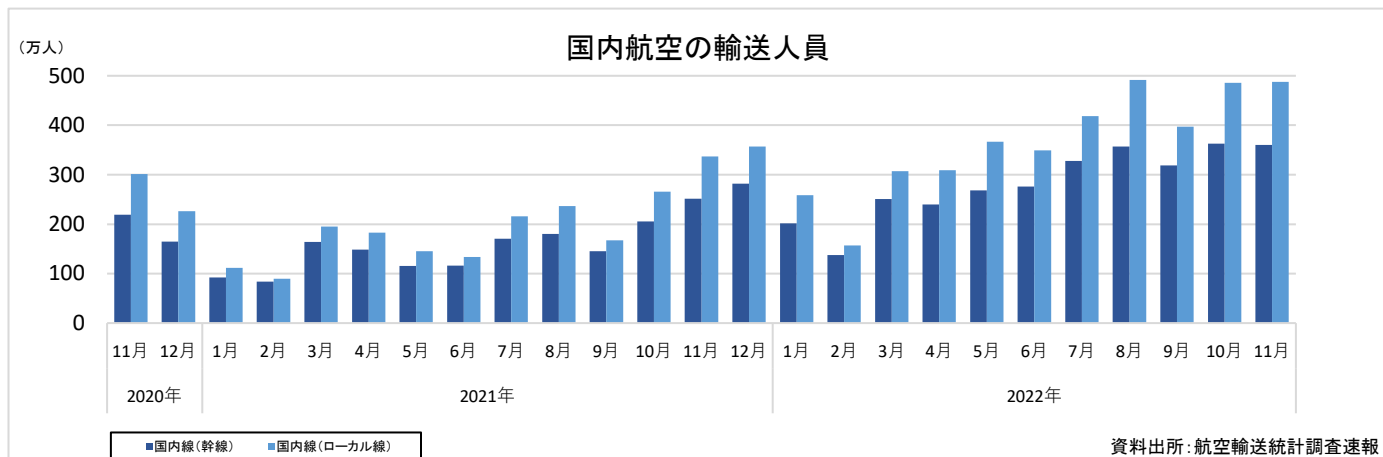


(4) 航空

11月の国内線の輸送人員は848万人（対前年同月比44.0%増加）となった。

そのうち、幹線は360万人、ローカル線は488万人であった。

11月の国際線の輸送人員は85万人（対前年同月比491.5%増加）となった。



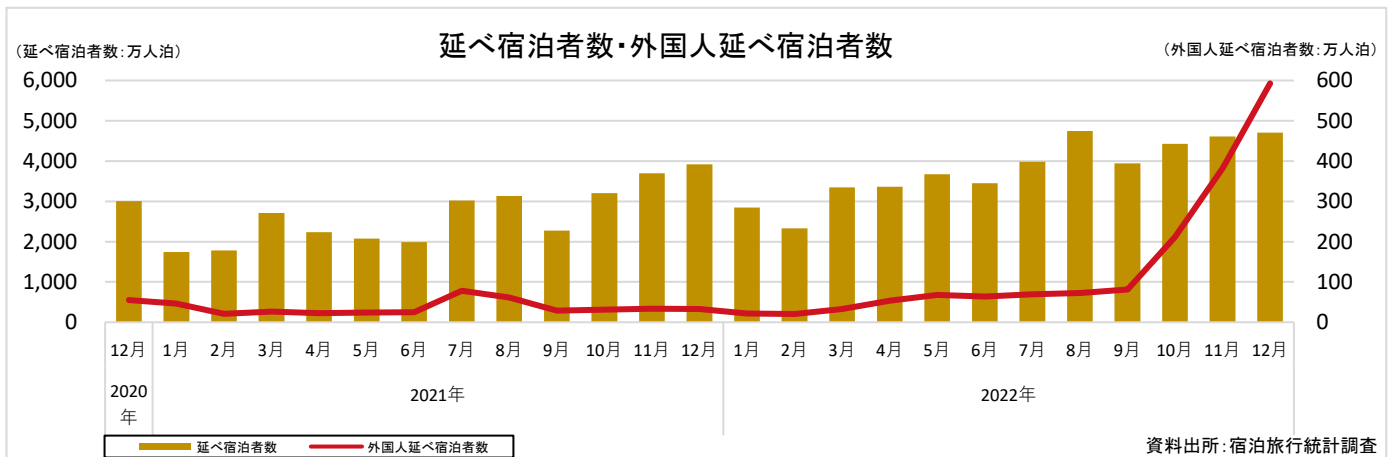
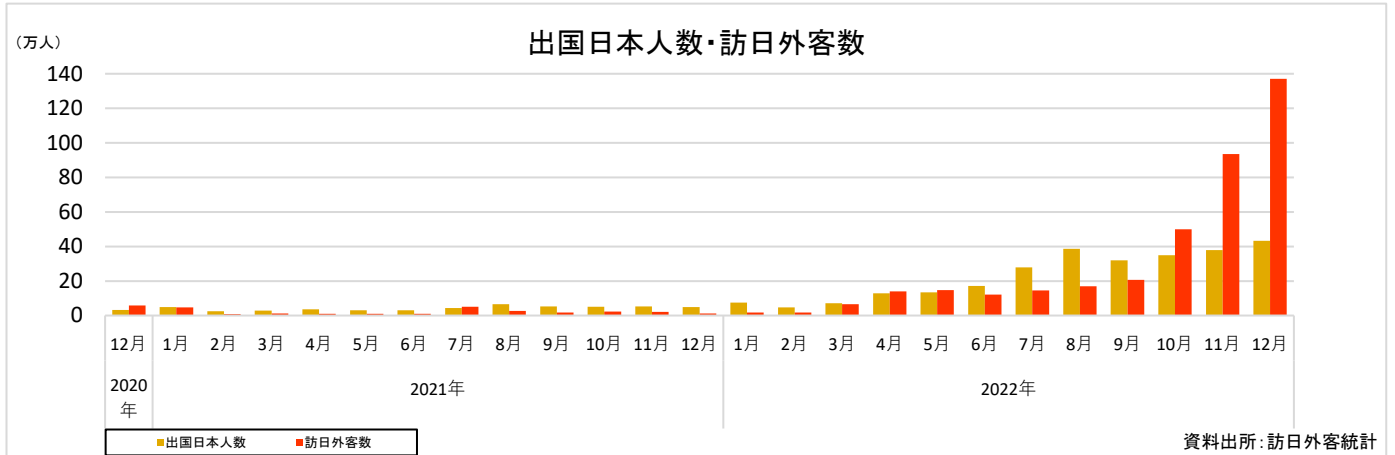
3. 観光分野

(1) 出国日本人数、訪日外客数、宿泊者数

12月の出国日本人数は43万人（対前年同月比782.9%増加）、訪日外客数は137万人（対前年同月比11,237.3%増加）となった。

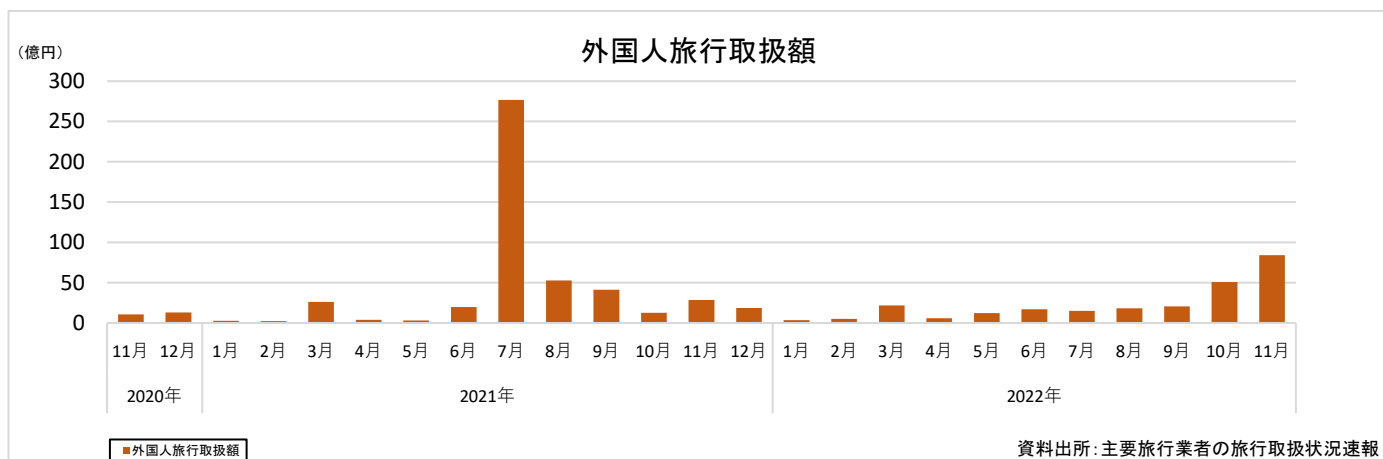
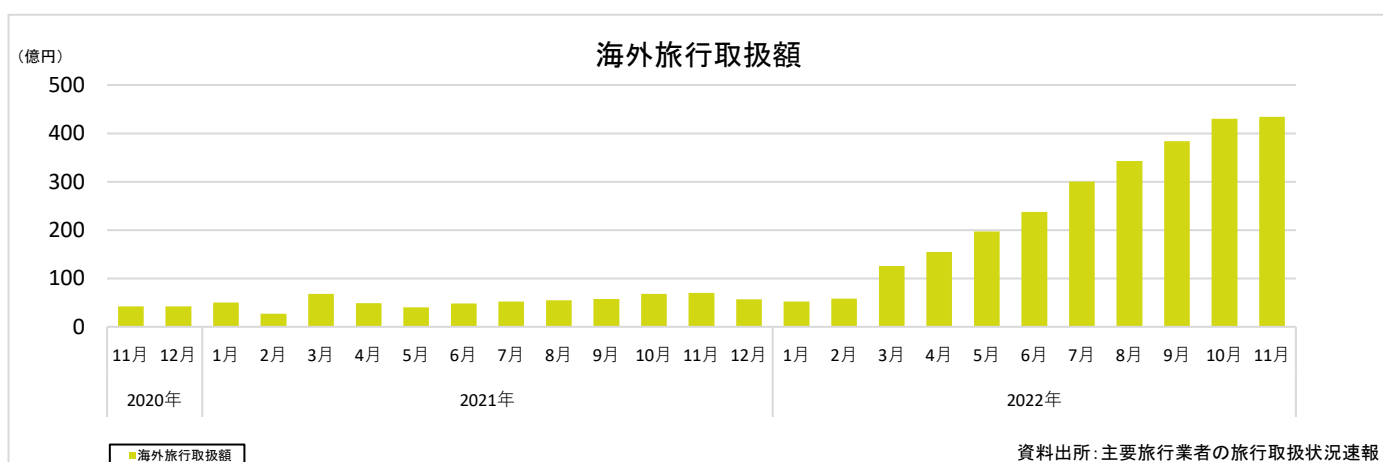
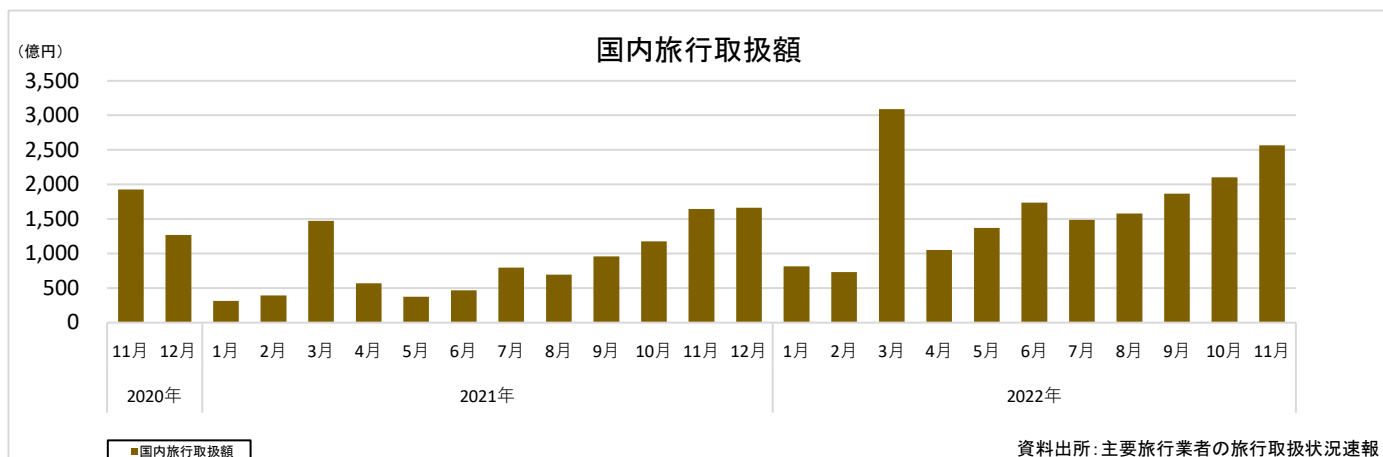
12月の延べ宿泊者数は4,703万人泊（対前年同月比20.0%増加）となった。

そのうち、外国人延べ宿泊者数は593万人泊（外国人シェア12.6%）であった。



(2) 主要旅行業者の旅行取扱状況

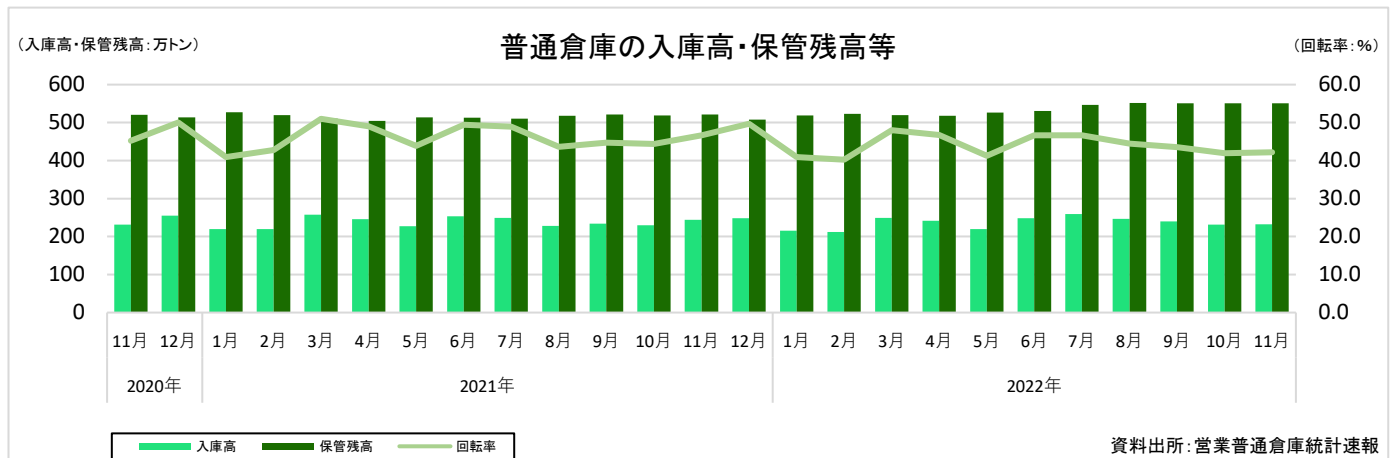
11月の主要旅行業者（43社）の取扱額は、国内旅行 2,565 億円（対前年同月比 56.0%増加）、海外旅行 434 億円（対前年同月比 517.8%増加）、外国人旅行取扱額 84 億円（対前年同月比 194.3%増加）となった。



4. その他

(1) 倉庫

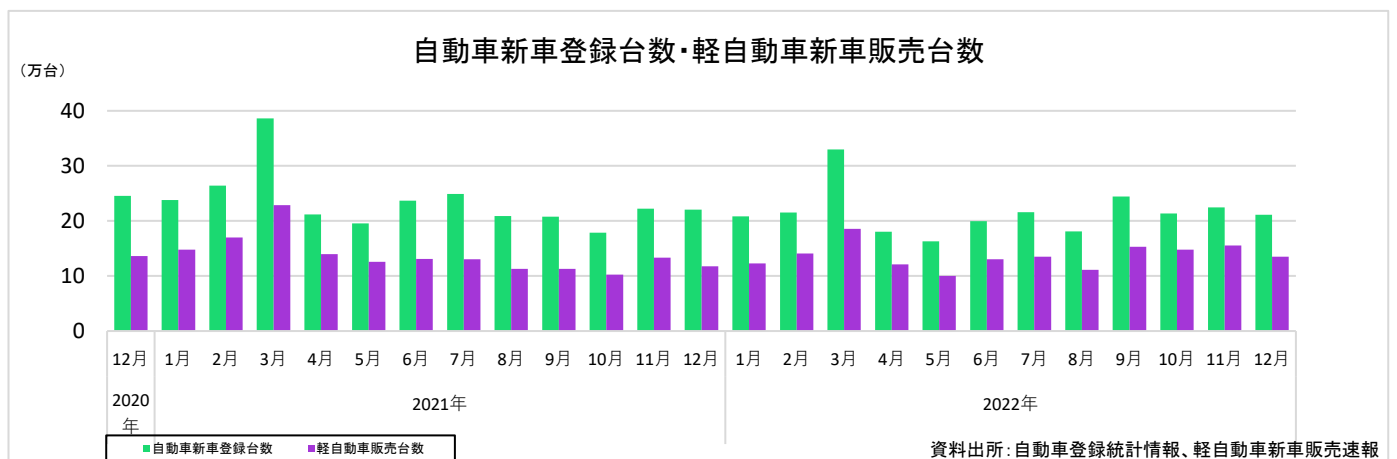
11月の普通倉庫の入庫高は233万トン（対前年同月比4.8%減少）、保管残高は551万トン（対前年同月5.7%増加）、回転率42.2%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

12月の自動車新車登録台数は21万台（うち貨物車登録台数2万台、旅客車登録台数18万台）となった。

12月の軽自動車販売台数は14万台となった。



(3) 自動車保有車両数

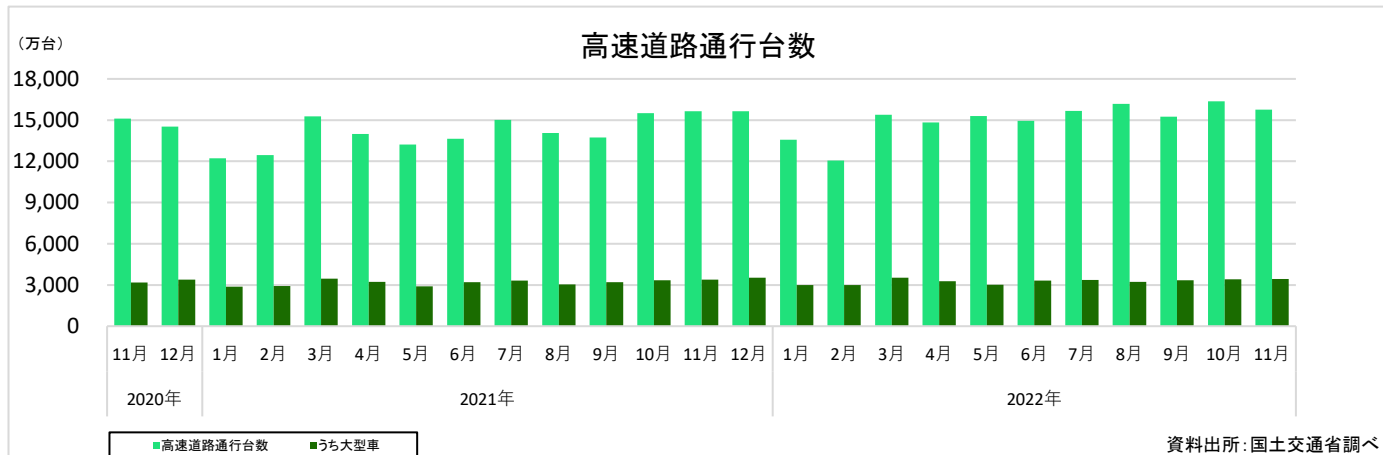
11月の自動車保有車両数は8,271万台となった。

(4) 高速道路通行台数

11月の高速道路通行台数は15,767万台（対前年同月比0.7%増加）となった。

そのうち、大型車通行台数は3,443万台であった。

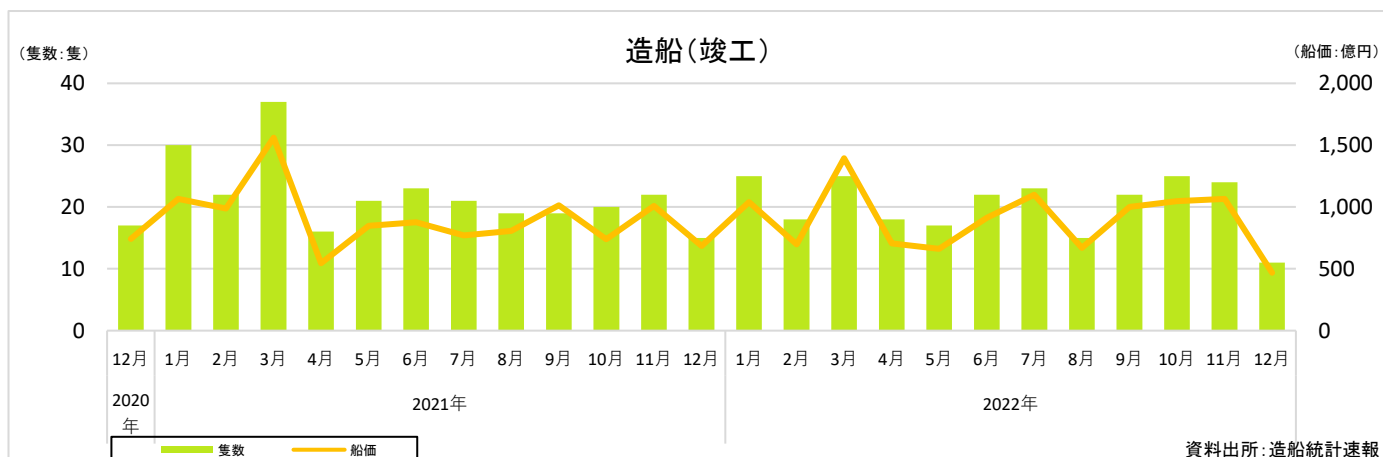
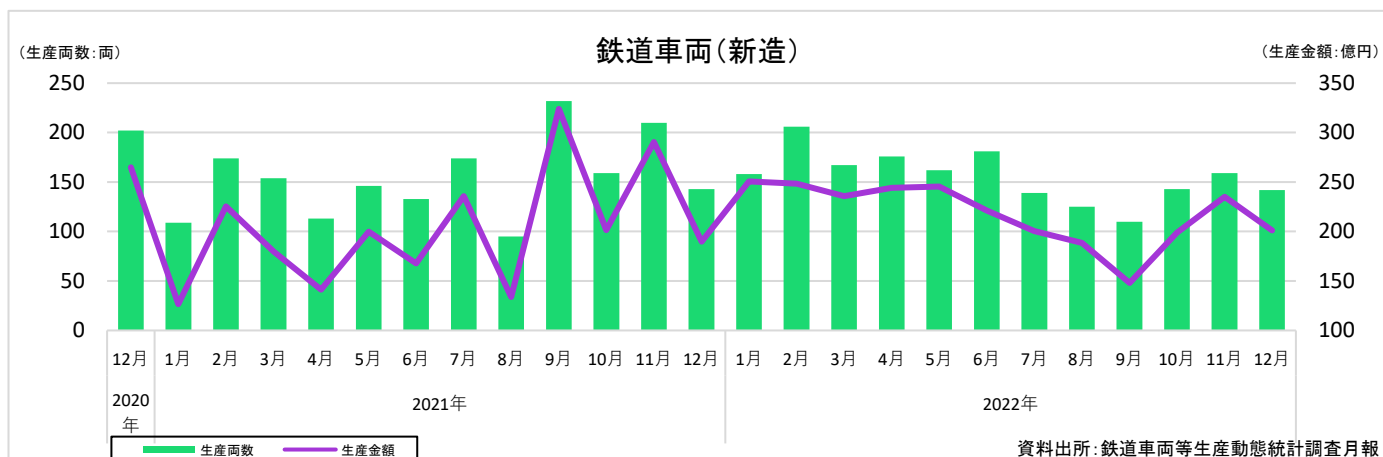
また、東名高速道路通行台数は1,257万台であった。



(5) 鉄道車両、造船

12月の鉄道車両（新造）の生産両数及び生産金額は142両、201億円となった。

12月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は11隻、266,306G/T、468億円となった。

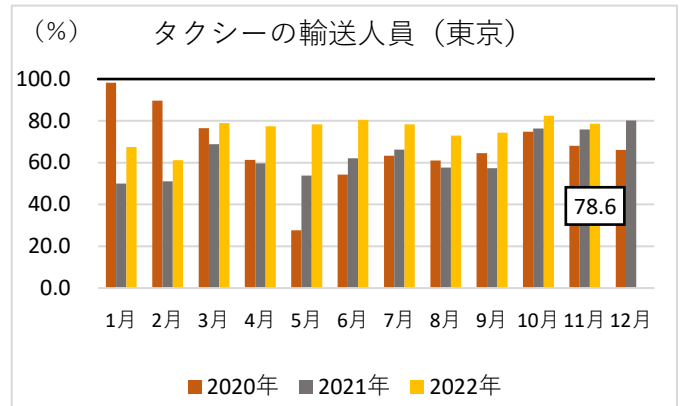
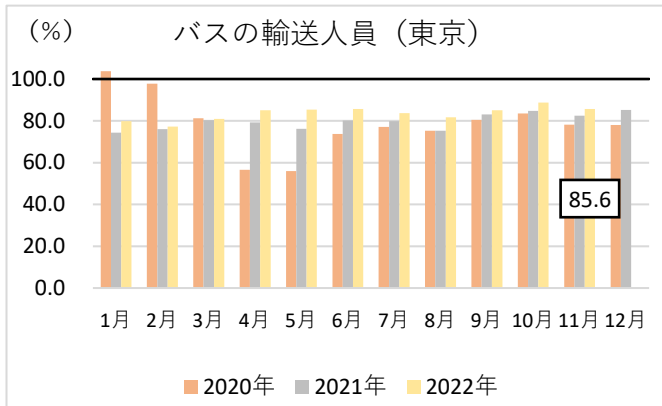


（参考）旅客輸送の対 2019 年同月比について

（１）バス・タクシー

11 月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10 社））の対 2019 年同月比は 85.6%となった。

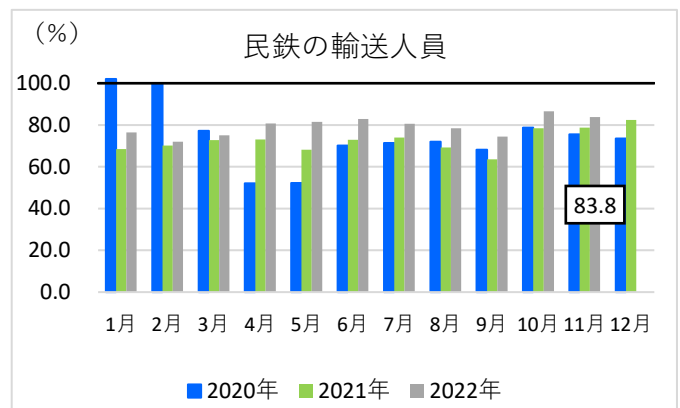
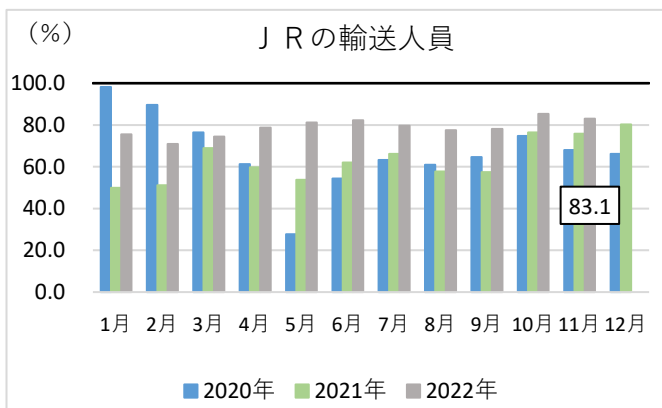
11 月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の対 2019 年同月比は 78.6%となった。



（２）鉄道

11 月のＪＲの対 2019 年同月比は 83.1%となった。

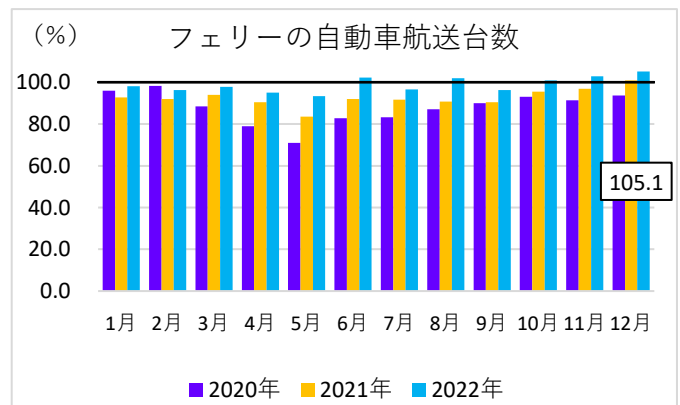
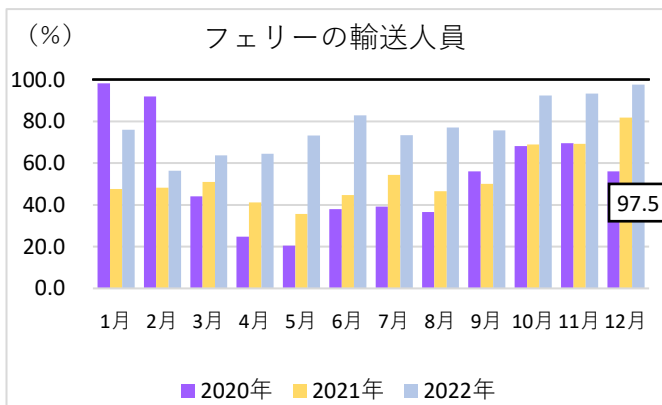
11 月の民鉄の対 2019 年同月比は 83.8%となった。



（３）フェリー

12 月の長距離フェリーの対 2019 年同月比は 97.5%となった。

12 月の自動車航送台数の対 2019 年同月比は 105.1%となった。



(4) 航空

12月の国内線の対2019年同月比は95.8%となった。

12月の国際線の対2019年同月比は56.7%となった。

